

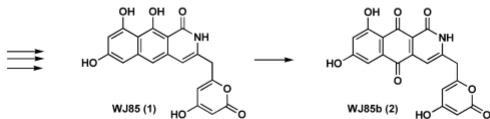
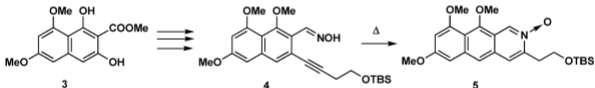
26PW-am002

2-アザアントラセンWJ85の合成研究

○大山 佳香¹, 町支 臣成¹, 中村 理恵¹, 延廣 順子¹, 日比野 俐¹(¹福山大薬)

【目的】近年、Tang らは、芳香族ポリケチドの生合成研究の中で *Streptomyces coelicolor* strain CH999 菌株より従来のポリケチド二次代謝物である anthraquinone 由来の化合物でなく benzo[g]isoquinoline 骨格に側鎖として 4-hydroxy-2-pyrone 構造をもつ新規な 2 種の化合物 WJ85 (1) と WJ85b (2) を単離・構造決定し報告している。今回この benzo[g]isoquinoline 骨格合成に坂本ら*の方法ををを活用し、すなわち化合物 4 から化合物 5 への環化反応を鍵反応とした、これら新規化合物の全合成研究を検討したので報告する。

【方法・結果】既知のナフタレン 3 より数工程を経てオキシム 4 を得、鍵反応である環化反応を行いベンゾイソキノリン N-オキシド 5 を合成することで骨格合成に成功している。現在、側鎖のピロン環導入を検討中である。



*T. Sakamoto, *Heterocycles*, **24**, 2311 (1986).